

# 平成22年度 21世紀土地改良区創造運動 北海道大賞

## 受賞地区の概要

～新たな水土里ネットの創造～

道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織

道民・国民の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていきける組織

を目指して



平成22年8月25日

水土里ネット北海道  
北海道土地改良事業団体連合会

## はじめに

21世紀土地改良区創造運動(以下「21創造運動」)は平成13年度から始まり、14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含め土地改良区の役割の一層の発揮等に向けた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、平成16年度から「21創造運動北海道大賞」を選考しております。

21創造運動は、水土里ネットの役割・機能を再認識するなど自己確認、自己変革に取り組む(内部運動)とともに、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性と水土里ネットの果たす役割などについて広く理解の醸成を図る(外部運動)ものであります。今後とも水土里ネットが、道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、また、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展するためには、これからも着実に継続して21創造運動に取り組んでいかなければなりません。

本会といたしましては、この表彰を通じ、関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげ、さらなる運動の推進と新たな展開が図られるよう支援して参りたいと考えております。

## 2 1 創造運動北海道表彰について

### 1 . 2 1 創造運動表彰の趣旨

「水」「土」「里」は食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の発揮の基盤となる社会共通資本。道民・国民の財産であるこの「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、水土里ネットでは、農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して、21創造運動を積極的に展開している。

このような中で、模範となる運動を展開している水土里ネットの表彰を通じ、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげるにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚と意識改革を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資する。

### 2 . 2 1 創造運動表彰の選考経過等

#### (1) 選考対象

21創造運動に積極的に取り組み、北海道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与えうる運動を行っている水土里ネット。

#### (2) 選考方法

本会「21創造運動表彰選考委員会」が、道内78水土里ネットの取組状況を精査し、北海道大賞を選定する。

#### (3) 「21創造運動表彰選考委員会」委員

委員長	梅田安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	浜田哲	美瑛町長
委員	長澤徹明	北海道大学大学院農学研究院教授

”	森	久美子	作家、エッセイスト
”	小田	たず子	消費生活コンサルタント
”	野城	正功	農政ジャーナリスト
”	平見	康彦	北海道開発局農業水産部調整官
”	加藤	聡	北海道農政部農村振興局長

#### (4) 選考基準

水土里ネットが取り組む21創造運動での愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、総合学習など学校教育との連携、先駆的な農業・農村振興、環境・景観保全、多様な広報などの推進において、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性で優れた活動が行われ、地域住民の理解促進や地域振興に貢献するなど運動の成果が認められること。

##### 1) 運動の取組体制

役職員の積極的な参加 運動を担う後継者の育成

##### 2) 運動の意味性

基本理念の明示 歴史の歴史の伝承 先駆的な取組

##### 3) 運動の継続性・発展性

持続的な運動の展開 発展・拡大 運動の計画性 多様なツールの活用

##### 4) 運動の成果

多様な連携 地域住民の理解 地域資源の保全強化  
農地・水・環境保全向上対策との連携 地域に貢献

#### (5) 選考経過

表彰選考委員会

期 日 平成22年6月30日

選考内容

- ・21創造運動北海道表彰の実施方針と選考基準等について審議。
- ・道内78水土里ネットの創造運動の活動内容について、愛称普及 都市と農村の交流 関係団体・地域住民との連携 学校教育との連携 先駆的な農業・農村振興活動 環境・景観保全活動 多様な広報等 運動の成果 - の8項目に分類し、それぞれの項目で各水土里ネットがどのような活動を行い、どのような成果が上がっているのかを整理。
- 【北海道大賞の選考】 上記を踏まえて、これまで全国大賞、北海道大賞を受賞した以外の水土里ネットの中から、 から の全ての項目について積極的に取り組んでいる8水土里ネットを北海道大賞候補として1次選考。その中から、選考基準をもとに特に優れた活動を展開している4水土里ネットを北海道大賞に選定。
- 【全国大賞推薦の選考】 昨年度までに北海道大賞を受賞している18水土里ネットと、今回北海道大賞に選考された4水土里ネットの合わせて22水土里ネットの中から特に優れた活動を展開している1水土里ネットを全国大賞中央選考委員会（全国水土里ネット）へ推薦。

## 2 1 創造運動北海道大賞地区の概要

### 1 . 水土里ネット江別（江別土地改良区）

#### （1）水土里ネットの概要

地区面積：1,791ha 組合員数：192戸 関係市町村：江別市  
役職員等数：総代 - 名、役員8名、職員5名

#### （2）2 1 創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流活動では、地域の夏祭りに参加し、農業農村整備事業の重要性、農業・農村が持つ多面的機能、農業用水の役割等をPRしている。

関係団体・地域住民等との連携活動では、農業者が行う施設管理の草刈りに併せて自治会員の協力により施設周辺のゴミ拾いを行い、景観・環境保全に努めている。

総合学習など学校教育と連携した活動では、江別市をはじめ関係団体、農業者と連携して、保育園児から中学生まで幅広く田植え、稲刈り体験を開催。食育活動と併せて、農業用水の重要性と、それを管理している水土里ネットの役割などを紹介し、子供達に農業・農村に対する理解を深めた。

そのほか、農地・水・環境保全向上対策の活動組織活動組織と密接な連携を図り、地域内の農地・農業用施設等の保全に向けて、効果の高い活動を行うための支援を行っている。

#### （3）2 1 創造運動の主な取組

##### 都市と農村の交流

###### 地域イベントへの参画

農村部と都市部が共催で行う夏祭りに参加し、水土里ネットの紹介、農業農村整備事業、農業・農村が持つ多面的機能、農業用水の役割等をパネルやパンフレットでPRを行ったほか、水土里ネットに関するアンケート調査を行い、協力者にはパンフレット、ティッシュ、ボールペン等を配布してPRを行っている。



##### 関係団体・地域住民等との連携活動

###### 地域の環境整備活動の推進

地域住民や農業者等と連携して、施設周辺のゴミ拾いを行い、景観・環境保全など、農業施設が持つ多面的機能の発揮に向けた取り組みを行っている。



##### 学校教育との連携

###### 農業体験学習への参加

江別市などと連携し、市内の小学校3校と幼稚園の農業体験学習（田植え、稲刈り体験）に協力。水土里ネットの役割なども紹介している。



## 2. 水土里ネットそらち（空知土地改良区）

### （1）水土里ネットの概要

地区面積：4,068ha 組合員数：560戸  
関係市町村：滝川市、深川市 役職員等数：総代52名、役員10名、職員15名

### （2）2.1 創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流活動では、市やＪＡなどが主催する地域のイベントに積極的に参加しパネルで農業用水の多面的機能、農地・農業用水等の資源保全の重要性や水土里ネットの役割などをＰＲしている。

関係団体・地域住民等との連携活動では、農業用水の防火用水機能増進を図るため、地区内の用排水路等の位置図を消防署に提供し、対処できる箇所を増加に向けて協議を進めている。また、ＪＩＣＡの活動に協力し海外研修生の受け入れを行い、水土里ネットの役割や施設の管理手法などを紹介している。さらに、行政と連携し、用水路のボックスカルバート化等による敷地の有効活用として、農園や花壇を整備している。

環境・景観保全活動では、農業用水を活用した親水公園、憩いの場、遊歩道等の整備を推進し、地域住民がジョギングコースとして活用している。

### （3）2.1 創造運動の主な取組

#### 都市と農村の交流

地域イベントへの参画

地域の農業祭りに参画し、パネル展やアンケート調査、水路模型展示などを行い、水土里ネットの役割などをＰＲしている。



#### 関係団体・地域住民等との連携

農業用水の多面的機能発揮に向けた取り組み

農業用水の防火用水機能増進を図るため、地区内の用排水路等の位置図を消防署に提供し、対処できる箇所を増加に向けて消防署と協議を進めている。

用水路敷地を地域住民に開放

用水路のボックスカルバート化等による敷地の有効活用として行政と連携し、農園や花壇整備地域住民が利用している。



#### 環境・景観保全活動

農業用水を活用した親水公園、遊歩道等の整備推進

農業用水等を活用した親水公園、憩いの場、遊歩道等の整備を推進しており、地域住民がジョギングコースとして活用している。





### 3. 水土里ネットしんりゅう（神竜土地改良区）

#### （1）水土里ネットの概要

地区面積：2,978ha 組合員数：312戸

関係市町村：深川市、旭川市、秩父別町 役職員等数：総代32名、役員8名、職員10名

#### （2）2.1 創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流活動では、地域ボランティア加盟事業所として、地域安全マップ作り、登下校時の見守り等の活動を通して事故防止などの安全対策に努めている。また、地域の産業夏祭りに参加し、水土里ネットコーナーを設置して、農業用水・農業水利施設の役割・重要性などをPRしている。

関係団体・地域住民等との連携活動では、地域住民や深川市と連携し、駅前公園（用水路敷地）の花壇植栽等共同活動を実施し、環境・景観保全に取り組んでいる。

総合学習など学校教育と連携した活動では、小学校の総合学習と老人クラブの合同施設見学会を実施しているほか、小学校、関係機関との連携のもと、水利施設及び水田の生きもの調査、試験紙を使った水路・水田の水質調査体験なども実施している。

そのほか、農業用水や水土里ネットの役割などを紹介したパンフレット等を作成し、地域住民へ広く農業水利施設等をPRしている。

#### （3）2.1 創造運動の主な取組

##### 都市と農村の交流

地域ボランティア活動への参画

地域ボランティア「ふかがわすきやき隊」加盟事業所として、ボランティアメンバーと共に、安全マップ作り、登下校時に見守り、声かけ、学校との連絡強化などの活動を行っている。

地域イベントへの参画

地域の産業夏祭りに参画し、水土里ネットコーナーを設置し、水土里ネットの役割などをPRしたほか、川えびすくいなどを通じ、水路事故防止についての啓発普及活動を行っている。



##### 関係団体・地域住民等との連携

地域住民等と連携した植栽活動

地域住民や深川市と協議し、駅前公園（用水路敷地）の花壇植栽等共同活動を実施し、環境・景観保全を推進している。



##### 学校教育等との連携

施設見学会の実施

小学校4年生の総合学習と併せて老人クラブの施設見学会を合同で実施し、農業水利施設のPRを行っている。

田んぼの生き物調査の実施

小学校と関係機関の連携により、水利施設及び水田の生きもの調査、試験紙を使った水路・水田の水質調査体験などを実施している。



## 4. 水土里ネットほろかない(幌加内土地改良区)

### (1) 水土里ネットの概要

地区面積：1,986ha 組合員数：166戸 関係市町村：幌加内町  
役職員等数：総代一名、役員8名、職員6名

### (2) 2.1 創造運動の概要と受賞ポイント

都市と農村の交流活動では、町が主催する「産業祭り」に参加し水土里ネットコーナーを設置して、パネルで農業用水の多面的機能、農業の役割・重要性などをPRするとともに、水土里ネットで実施している農業農村事業の実施による効果、必要性なども紹介している。

関係団体、地域住民等と連携では、「そば」を核とした、全国一の作付面積と生産量を誇る幌加内町の活性化と町おこしに取り組みようと、町やJA、商工会等と連携して、「そば活性化協議会」や「そば祭り実行委員会」等を設立し、様々な取り組みに積極的に参加している。

学校教育との連携では、幌加内小学校の社会見学で、水土里ネットが管理する施設に案内し、ダム・頭首工の役割などを説明したほか、農業・農村の多面的機能や水土里ネットの仕事などを紹介している。

そのほか、町内の小中高校と連携して、市街地のゴミ拾いを行う「クリーンアップ大作戦」を実施。地域住民なども含め約300人が参加し、用水路沿いも含めた町内の景観保全に努めている。

### (3) 2.1 創造運動の主な取組

#### 都市と農村の交流

##### 地域イベントへの参画

町が主催する「産業祭り」に参加し水土里ネットコーナーを設置して、パネルで農業用施設の多面的機能、農業の役割・重要性などをPR、水土里ネットで実施しているほか、「ニジマスつかみ」も行い、子どもたちとの交流を図っている。



#### 関係団体・地域住民等との連携

##### そばを核とした町おこし

町やJA、商工会等と連携して、「そば活性化協議会」や「そば祭り実行委員会」等を設立し、水土里ネットほろかないも積極的に参加している。毎年行われる「そば祭り」は、人口1,800人の町に2日間で3万人が訪れる祭りに成長している。



#### 学校教育との連携

##### 小学校の社会見学に協力

町教育委員会と連携し、幌加内小学校4年生の社会見学で、水土里ネットが管理するダム・頭首工に案内し、農業に欠かす事の出来ない水の大切さ、ダム・頭首工の役割などを説明したほか、鯉や川エビの放流も行い子どもたちとの交流を図っている。

